
最終回

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

最終回

【Nコード】

N2617R

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

桜舞う季節の少し前、俺は高校生を終了した。

(前書き)

最後の最後で、また短くなってしまいました。

桜舞う季節の少し前、俺は高校生を終了した。一年間がこんなに短く感じたのは初めての経験だった。遊ぶ事も忘れ、苦手な英語の克服に全力で取り組み、気が付けば学年上位という成績に自分自身驚愕した。それもこれも、母のあの一言から始まったのだと思うと、父に感謝の気持ちすら覚える。

「あんな風になりたくないでしょ！」

と言っていた母。

「こんな風になるなよ！」

と言っていた父。

その結果、志望した大学の合格発表の日、母と涙を流して喜んだ。

そして今日、この桜舞う季節に俺は新たな出発をする。

行く先に広がるのは、果てしない広野のような学問という壁。それを、これから登って行かなければならない。まるで、危険なロッククライミングをするかの如く。『医者になる』そんな、途方もない夢に向かって進んで行くんだ。そう、こんな目眩さえも乗り越えて
！！

『母さん……、父さん……、アネキ……、今までありがとう。これ
からもっと頑張って、必ず医者になってみせるからな!』

「ねえ……。ねえってば! アンタ涎垂らして何をニヤニヤして
るのよ!!! 医者になるんでしょ!!! もう少し真面目に頑張りな
さいよね!」

いつの間にか隣にいたノックを知らない女が、言いたい事だけ言っ
て出て行った。

『いいじゃねえか!!! ちょっとくらい幸せな夢見たってよ!』

まあいいさ。これくらいが俺らしい。なあ、そう思うだろ!?
……勉強しよーっど。

(後書き)

これまで、ご愛読頂きまして、誠にありがとうございます。

短編として、綴った物が気が付けば連載化して、投稿してありました。

文字数も少なく、たった20話という短さでしたが、面白く、楽しく、執筆させて頂きました。

これまで本当にありがとうございました。

「で、これからコレ連載小説に投稿するんだよな。俺は止めといた方がいいと思うぜえ!!」

「うるさい! アンタはくだらない事に頭突っ込んでないで、勉強しなさい!!」

「うるさいアネキだ……」

「なんですって!!!!」

「なんでもないよ」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2617r/>

最終回

2011年10月8日01時14分発行